

# 福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	我が国における鍼灸医学の近現代史 (特別講演, 福島医学会学術研究集会シンポジウム抄録)
Author(s)	矢野, 忠
Citation	福島医学雑誌. 73(1): 23-23
Issue Date	2023
URL	<a href="http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1970">http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1970</a>
Rights	© 2023 福島医学会
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-02-26T18:27:00Z

## 福島医学会学術研究集会シンポジウム抄録 鈴木雅雄教授就任記念学術集会

### 「我が国における鍼灸医学の近現代史と COPD に対する活用」

日時：令和4年10月15日（土）14:00～16:30  
場所：ザ・セレクトン福島（ハイブリッド開催）

#### <特別講演>

#### 我が国における鍼灸医学の近現代史

明治国際医療大学 学長

矢野 忠

鍼灸医学が中国から我が国に伝来したのは、医学史では562年（僧智聡が仏典と共に鍼灸医学書を携えて来日した年）とされています。当時は隋唐医学の模倣でしたが、時代を経るにつれて徐々に日本化し、それが開花したのが安土桃山時代でした。この時代には御菌流、夢分流、入江流、吉田流などの優れた流派が台頭し、多様性を特色とする日本鍼灸医学はこの時代に創られました。

そして江戸時代には、杉山和一の虚実補瀉を重視する古典学派、菅沼周圭の親試実験による実証学派、石坂宗哲の蘭学の影響を受けた漢蘭折衷学派の3つの鍼灸学派が興りました。これら三つは日本人の感性と診療技能によって打ち立てられた流派であり、現在の日本鍼灸医学の原型となりました。

明治時代になると富国強兵、殖産興業の国策により日本の伝統医学派は廃止され、西洋医学が日本の正統医学となりました。鍼灸については、その後、視覚障害者の職業として許可されましたが、その教育は西洋医学を基にすることが求められました。このことが鍼灸教育の基本となり、今も教育課程に反映されています。こうした西洋化が進むことに対して鍼灸医学の本質に立ち返るべきとして、1939年には古典理論を基にした日本独自の経絡治療が、昭和20年代には良導絡・良導点、内臓体壁反射による皮電点などによる新しい鍼灸療法が創始され、鍼灸医学の科学化が進められました。

そうした中、戦後、GHQから鍼灸療法の廃止が勧告されました。関係者の壮絶な反対運動により存続が許されたものの、法的には「医業類似行為」とされました。しかし、1970年代、薬害公害に対する西洋医学への批判、中国の針麻酔のセンセーショ

ナルな報道を背景に東洋医学への関心が一気に高まり、多くの研究者が鍼灸の基礎的・臨床的研究に取り組みました。このことは世界的規模で展開され、鍼灸の科学化が加速されました。そのような背景のもと本邦初の4年制の鍼灸大学として明治鍼灸大学が1983年に開学され、多くの有為な教育研究者、臨床家を排出し、鍼灸医学の新たな時代が築かれました。世界的にも鍼灸医学研究の気運は高まり、1997年、NIHは鍼に関する合意のためのパネル会議を開催し、エビデンスに基づいて鍼の適応症を発表しました。

明治以降、日本の鍼灸医学は、西洋医学の影響を受けながら発展し、その過程で伝統医学派、現代医学派、東西医学折衷派の3つの学派が派生し、相互に影響し合いながら活動しています。

鍼灸医学は、今や世界の約180カ国で盛んに行われています。このように鍼灸医学が世界規模で発展していく中、我国の鍼灸研究はやや停滞気味ですが、鈴木教授のCOPDの臨床研究は国内外で高く評価されています。このことは今の閉塞感を打ち破る契機になるとともに、福島県立医科大学津医療センターが日本の漢方及び鍼灸臨床研究の拠点として新たな道を拓くと思います。

#### <シンポジウム>

#### 1. COPDの基礎知識と治療・管理

福島県立医科大学医学部 呼吸器内科学講座  
教授

柴田 陽光

COPDにおける最大の危険因子は、長期間の喫煙習慣である。タバコ煙に含まれる有害物質によって、気道・肺内の細胞が活性化され、プロテアーゼとアンチプロテアーゼ、もしくはオキシダントとアンチオキシダントの間に不均衡が生じることで、組織が炎症を起こし傷害を受ける。肺胞壁は破壊され気腫性病変が形成され、末梢気道は線維化による壁肥厚や粘液腺過形成による分泌物増加によって内腔の狭小化がもたらされる。また近年の研究では末梢気道数が減少してしまうことも報告されている。本邦には約530万人患者が存在すると考えられているが、多くは未診断・未治療の状態に放置されている。COPD患者は呼気時に強く気流閉塞が生じ、体動時の呼吸困難が主たる症状となる。重症化してしまうと、低酸素血症を伴うようになり、患者は少しの体